

# やまがたの木を使おう!

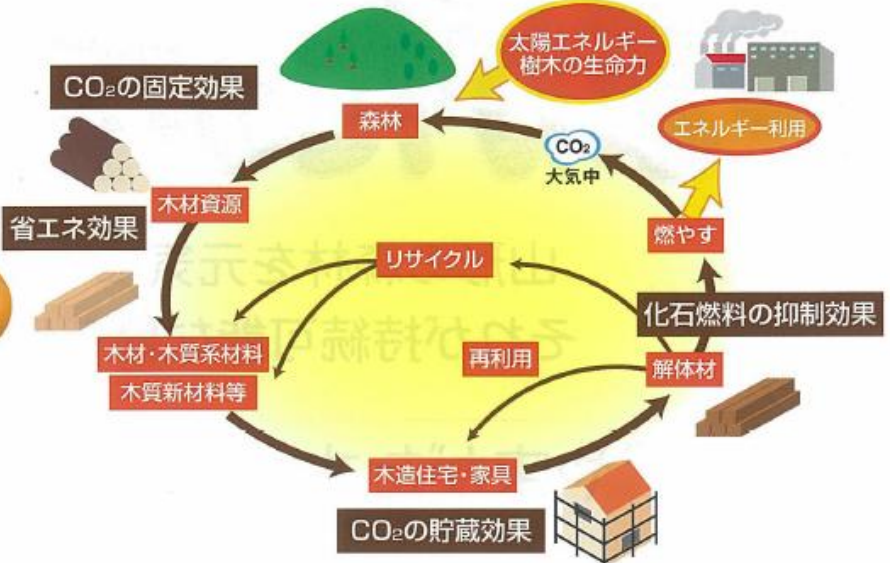
山形の森林を元気にするために!  
それが持続可能な暮らしを実現する

“やまがた木づかい運動” 展開中!!



山形県

# 木は、ほかの資源とどうちがうの？



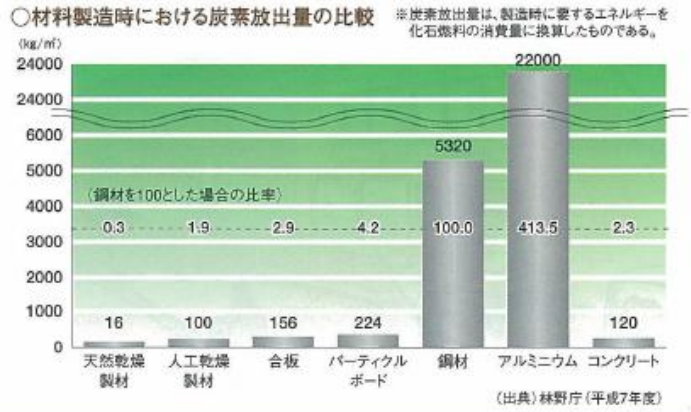
## 木材は究極の循環資源

山形県は、面積の70%が森林で占められています。この森林から生産される木材は、太陽エネルギーと森林の生命力によって作られるため、石油などの限られた資源とは異なり、繰り返し生産することが可能です。また、木材の

利用と森林の育成を繰り返すことで、炭素が大気中と森林を循環する流れができ、木材を資源やエネルギーとして利用しても、大気中の二酸化炭素を増やすことがないため、地球温暖化の防止に大きく貢献します。

## 木材は省エネルギー資源

木材は、鉄やアルミニウムと比べて、製品を作るときに使うエネルギーが少ないという特徴を持っています。エネルギーを使えば大気中に二酸化炭素が放出されるので、木材を利用すれば、この放出量を少なくすることができ、地球温暖化の防止につながります。



## 木材は健康にやさしい自然の素材

木材は、特有の香りやゆくもりにより、心を落ち着かせる効果や湿度の調整、音を吸収する効果など多くの働きを持っています。学校での調査では、木造校舎のほうがインフルエンザやけがの発生が少なく、不登校児童の割合も少ないことが報告されています。このように、木材を利用することは、心身の健康維持や潤いある生活環境づくりに大きく貢献します。

○学校施設の構造別による児童・教職員への影響の比較

項目	単位	木造	鉄筋コンクリート
不登校児童の割合	人/千人	1.6	2.9
インフルエンザによる学級閉鎖発生率(1学級あたり)	%	2.7	5.8
事故欠席の発生率	人/千人	190.0	400.0
めまい、肩こり等疲労感を訴える先生の割合	%	14.0	22.0
気力限退を訴える先生の割合	%	9.0	18.0

資料 平成6年度(財)日本住宅・木材技術センター「木造校舎の環境が及ぼす教育効果調査報告書」

# やまがたの木を使うと、どんないいことがあるの？

山形の  
森が元気になり、  
環境保全にも  
つながるよ！



## 森林の多様な働きを支える木の利用

森林は、きれいな水を蓄えたり、土砂くずれを防ぐなど、県民生活に不可欠な多くの働きを持っています。これらの働きは、森林が健全に維持されることで発揮されることから、木材を利用すれば、森林の手入れが進んで健全さが維持され、多様な働きが継続して発揮されることになります。山形の木を使えば、山形の森林が元気になって、県民生活を支える森林の多様な働きが向上するほか、林業や木材産業が活性化して、産業の発展にもつながります。



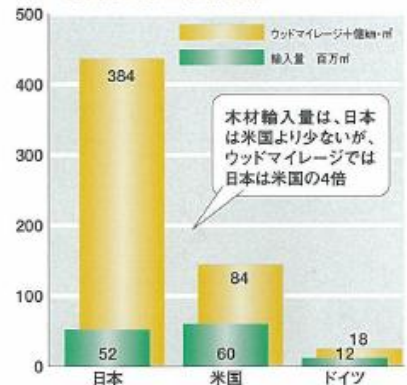
## 輸送エネルギーを減らし環境を保全

私たちは、日常生活の中で建築資材や生活用品として多くの木材を使っています。しかし、県内で使われている木材の半数近くは、世界各国から何万キロメートルもの長い距離を船で運ばれてくる輸入木材です。運ばれてくる時には、船の燃料など多くのエネルギーが使われ、大量の二酸化炭素が大気中に放出されます。近くの森林で生産される木材を使えば、運搬時の二酸化炭素の放出を少なくすることができ、地球温暖化の防止に大きく貢献します。



木材は、人と環境にとってもやさしく、近未来の有望な自然エネルギーだってことがわかってもらえたかな。未来に広がるみどり豊かな“やまがた”を創るため、みんなで「やまがたの木」を使おうよ！

○国別ウッドマイレージから見える  
特異な日本の木材貿易



※ウッドマイレージ=木材輸入量×輸送距離  
この値が大きいほど、輸送時の環境負荷が大

## “やまがた木づかい運動”展開中！！

県では、県民「協創」のもと、「やまがたの木」の利用の輪を広げる「やまがた木づかい運動」を展開中です。この運動に、多くの皆様のご参加とご協力をお願いいたします。ただし、何も難しいことをする必要はありません。日常生活の中で、ほんの少し木を使おうと気をつかう、これが「やまがた木づかい運動」です。

木を使う意味を  
みんなで  
考えよう！



木はどんなものに  
使われているか  
探してみよう！

生活の中で  
やまがたの木を  
使っていこう！

近くにある  
木のできた建物に  
触れてみよう！

みんなも、今日からやってみよう！



「木づかい」は、誰にでもできるエコ活動です。



山形県農林水産部森林課 TEL.023-630-2527

表紙イラスト 絵でみる森林・林業白書(林野庁)より